

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

所 属	文学部 2年
研修名	短期海外研修（ウィーン大学）

報告書

今回の研修で私はドイツ語を話せるようになりたいという思いが以前よりも強くなりました。しかし語学力や単語力がいきなり向上することはなく、やはりそれらはやり続けなければ成長しないもので、ほんの1ヶ月で成し遂げられるものではありません。もちろん話せるようになりたいという理由も留学を志望した理由の1つですが、私はそれよりも自分の今までの意識や固定概念を変えたいという理由の方が強かったです。今現在日本で学んでいる意味を考える時間と、今まで自分が当たり前だと思っていた常識や考え方が通用しないような空間を経験することで、以前の自分を見つめ直す絶好の機会になるのではないかと思ったからです。それはこの先社会に出ていくために自分のやりたいことを見つける上で必要なことであると思います。実際に全く違う世界が存在するのだということをもっと自分自身に証明することができたことだけでも意味があるのではないかと思います。今までの人生で経験したことない出来事や、見たことのない景色を目の前にした時の感情が揺れ動く瞬間は今後の人生において忘れてはならないものであり、そういった、目や耳に入ってくるも全てが初めてのものである子供のように、新鮮な気持ちでいることがいちばんむずかしいことであり、それはとても大切なことであると思いました。

写真貼付（1枚）

研修中でよく訪れたシュテファン寺院周辺で、最終日にちょっとしたイベントが行われていた。

